

# 鈴鹿山地から琵琶湖へ

－ トンボの目線で生物多様性を考える －

## 感じる生物多様性、繋がる企業間ネットワーク



夏真っ盛りの8月上旬、鈴鹿の山と平野を移動する赤トンボのマーキング調査を通じて、企業と生物多様性との関係性を考えるフィールドセミナーを開催しました。自分の足で山を歩き、より身近に生物多様性を感じることができました。調査後の情報交換会もとても盛り上がり、参加された企業の方々の新たな繋がりも生まれました。今後の展開が楽しみです！

実施日：2016年8月6日  
フィールド：鈴鹿山系竜ヶ岳 石樽峠～重ね岩 (Alt 690～830m)  
内容：赤トンボマーキング調査  
参加者：5社7名  
案内人：牛島 稔 (株式会社ラーゴ)

## 探してください！ R マーク



りゅうがたけ  
登山道沿いのアキアカネを捕獲し、翅に竜ヶ岳を示す「R」マークを描きました。ここ数日の猛暑で、アキアカネたちはより高い場所に移動していたようです。そのため、アキアカネの発見に悪戦苦闘しましたが、合計103個体にマークすることができました (雌84個体、雄19個体)。秋に、湖東の平野のどこかでマークの付いたアキアカネに出会えることを楽しみにしています。